

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 中央区 日本橋 室町 4-4-10, 東短ビル5階  
TEL 03-5200-1710  
FAX 03-5200-3369



お客様各位

いつも大変お世話になっております。ナットソース・ジャパンでございます。

いよいよモントリオールでの COP/MOP 1 の開催が間近に迫ってまいりました。京都議定書発行後の COP とあって、皆様に置かれましては非常に注目していることであると思います。ナットソース・グループでは、もちろん今年も各拠点よりスタッフが現地に飛び様々な情報収集ならびに世界中の企業との情報交換を行いたいと考えております。現地での様子など、次回の NJL1 月号にてご紹介させて頂く予定でございます。

では、今月も弊社ニュースレターのご案内をさせて頂く時期になりました。本誌をご購読頂いておりますお客様へは、25 日(金)に電子メールを介しての配信を予定致しておりますので宜しくお願い致します。

- ・現在世界各地で排出権を対象とした政府系および民間系の基金(ファンド)が設立されていますが、現状ではその殆どが参加募集を締め切っていたり、そもそも日本企業が参加できる仕組みになっていなかったりと、ファンドへの参加による排出権の調達という手段が狭まっています。そこで今回は、世界銀行の Carbon Finance Business (CFB) に所属しており、バイオ炭素基金のマネージャーであるベノア・ボスケ氏より、その第 2 トランシェの案内が弊社ニュースレターへのご寄稿という形で届きましたので皆様にご紹介させていただきます。
- ・温室効果ガスを途上国において減少させる CDM プロジェクト、この対象国の一つにタイが挙げられます。ある縁で今回弊社では現地企業と CDM 事業についてのディスカッションの機会を頂き、そこでタイの企業の関心の高さを改めて感じました。しかし、一方で、実際の事業開発については国家承認制度が十分に機能していないなど、幾つかの問題点を間近で認識しました。現在、タイでは CDM 承認制度の改正作業が進んでおり、CDM 事業推進への動きが見られます。そこで、今回のディスカッションの一部を弊社の小松よりご報告させていただきます。

NJL では、排出権、卸電力、RPS、天候デリバティブなどの話題を採り上げ、弊社なりの視点でご報告させて頂いております。各種取引または当社サービスにつきましてのご質問、ご相談などがございます際には、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。また、NJL はこの夏 8 月号より電子メール(PDF 添付)での配信形式に変更しております。下記 URL より過去の NJL の目次を確認することが可能です。

バックナンバー：[http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents\\_2005.html](http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents_2005.html)

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 中央区 日本橋 室町 4-4-10, 東短ビル5階  
TEL 03-5200-1710  
FAX 03-5200-3369



お申し込み：<http://www.natsourcejapan.com/njletter/index.html> : 03-5200-1710 (代表)

弊社HP : URL : <http://www.natsourcejapan.com/>

排出権関連 : [info@natsourcejapan.com](mailto:info@natsourcejapan.com) : 03-5200-1710

RPS関係 : [rps\\_nj@natsourcejapan.com](mailto:rps_nj@natsourcejapan.com) : 03-5200-1710

卸電力取引 : [power@natsourcejapan.com](mailto:power@natsourcejapan.com) : 03-5200-3368

天候デリバティブ : [weather@natsourcejapan.com](mailto:weather@natsourcejapan.com) : 03-5200-1072

今後とも宜しくお願い致します。